

◆活動団体

団体名：岩国往来まちづくり協議会

連絡先：0827-43-0220

URL <http://sky.geocities.jp/fujimorikatsu/iwakunioldroad/index.htm>

◆活動内容

・整備事業

○ 桜の植樹

江戸時代の岩国往来沿いには、美観のために街道松が植えてありました。現在では1本も残っていません。そこで、松に代わり平成23年度に美和町の阿賀駕籠立場周辺に桜の苗木を25本、平成25年度は岩国往来沿いに小彼岸桜の苗木を90本、地元自治会の協力を得て植えました。

今年度も、岩国往来沿いの本郷町、美和町下畑、志谷、長谷及び藤河地区に50本植樹しました。昨年植えた桜には早くも美しい花が咲いており、5年後には桜の花を楽しみながら歩くことが出来るでしょう。

H26年度



3月に藤河で植樹



昨年植樹した桜には見事に花が咲く

○ 長谷地区で和紙づくり準備

山代地域では、江戸時代から昭和にかけて楮や三桮が植えられ、山代和紙が盛んに生産されてきました。しかし、現在では和紙を生産する所は一箇所もありません。

そこで、平成22年度に美和町長谷の岩国往来沿いに三桮100本を植え、三桮散策道を整備しました。三桮は大きくなり、和紙の原料になるまでに成長しました。

今年度は、長谷地区の人と一緒に大竹市や周南市に行き、紙すき体験や紙すきに必要な設備や備品を調査しました。来年1月には、地元中学校の生徒が紙すきを行ない、卒業証書をつくる予定です。将来、山代和紙づくりの後継者が育つことを期待しています。



三桮の皮剥ぎ



和紙の紙すき

○ 豪雨により崩れた道の復旧

平成26年8月、岩国市内を襲った集中豪雨で、長谷地区の長谷溪流と藤河地区の多田溪谷の土砂が流失し、約3キロの区間が通れなくなりました。

そこで、地元の協力を得て長谷溪流の棚田に新たに道を整備したり、丸太橋を架け替えました。多田溪谷は、土砂崩れを修復して通れるように道を復元しました。



長谷溪流で架け替えた丸太橋



多田溪谷の土砂崩れの修復作業

・岩国往來を歩く

- 3月に岩国市民ハイキングを松尾峠周辺（14キロ、100名）で行いました。
- JRふれあいウォークは、春に本郷～浜前（12キロ）、浜前～錦帯橋（12キロ）、錦帯橋～今津（12キロ）を各1回歩きました。秋は豪雨災害の影響で中止しました。
- 岩国市美川中学校と本郷中学校の生徒9名が、5月に本郷～錦帯橋24キロ（今回で8回目）、美和中学校70名が3月に美和周辺の17キロ（今回で6回目）を、学校の授業の一環として歩きました。



市民ハイキング



JRふれあいウォーク



美川中・本郷中 本郷～錦帯橋ウォーク



美和中学校 ウォーク

・岩国往來のPR活動

- 岩国市内で開催された市民活動カフェ、アイフェスタ、各地域のふれあいフェスタで、岩国往來の活動パネルを展示してPRを行いました。また、岩国往來の出前講座の依頼が2回あり、講座を行いました。